

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 7 月 28 日 作成

事務事業名		交通安全啓発事業			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	総務企画部	課長名 堤岡 純雄
	施策	3	交通安全対策の推進		所属課	総務課	担当者名 長島 正和
	基本事業	8	交通安全意識の高揚		所属班	交通防災班	(内線) 1225
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	交通安全対策基本法
	1	2	1	3	10038		成果優先度評価結果 5 コスト削減優先度評価結果 9
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S37 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	①交通安全対策基本法に基づく対策協議会の開催 ②新入学生児童を対象とした交通安全用品の配布 ③交通安全教室の開催 ④街頭キャンペーンや推進大会による啓発活動を行う事業。 市民を始め、新入学生児童の交通安全マナーの向上を目的に開始した人口及び事業所の増加に伴い、車両の通行台数が増えた。併せて、小学校の児童数も増加傾向にある
【業務の流れ】	①委員の委嘱、開催通知、資料作成、費用弁償の支払い事務、協議会開催、資料のまとめ ②新入学生の取りまとめ(数、サイズ)、用品等の発注、検査、支払い業務、贈呈式の開催 ③教室依頼の受付、講師への依頼、教室の準備、開催 ④イベントの計画、講師への依頼、啓発用品の購入、支払い、啓発チラシの作製、支払い、開催、後片付け
【主な予算費目】	報酬、職員手当、費用弁償、需用費(消耗品費、修繕費、印刷製本費等)、役務費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・市民・学校・議会からは、支給する交通安全用品充実を求める要望がある。 ・政策推進本部から「交通事故危険マップ」を作成し、公表するように、との要望がある。 ・総合政策審議会や議会から、交通安全マナー(自転車含む)の向上を図り、高齢者、子どもの事故発生を抑止するよう、意見があった。 ・議会から、運転中の携帯電話の使用が多く見られるので、啓発が必要という意見があった。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
交通安全対策協議会を2回開催した。 7小学校の新入学生に交通安全用品630人分を配布した。 街頭キャンペーン事業を2回実施した。	21年度と同じ
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 交通安全啓発事業開催数	回 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
市民	⇒ ア 市民 人 ⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
交通事故にあわない、起こさないようになる	⇒ ア 市内での交通事故発生件数 件 ⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 街頭キャンペーン等は、市民に限らず市外のドライバーにも交通安全を呼び掛けるため、市内での事故発生件数とする。 22年度の目標値は、前年度の事故発生件数減少を目標とする。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア 回		52	70	70	77	70	70	70
⑤ 対象指標	ア 人		54,027	54,407	55,124	54,856	55,732	56,281	56,829
⑥ 成果指標	ア 件		356	348	360	331	320	310	300
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	3,431	1,110	1,457	890	1,457	1,457	1,457
	(A) 事業費計	千円	3,431	1,110	1,457	890	1,457	1,457	1,457
人件費	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
	正規職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6	6
	延べ業務時間	時間	450	460	460	460	460	460	460
(B)人件費計	千円	1,787	1,840	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	
トータルコスト(A)+(B)	千円	5,218	2,950	3,288	2,721	3,288	3,288	3,288	

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	0
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0

事務事業名	交通安全啓発事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	徐々にはあるが、事故発生件数は減少している。		
有効性評価	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
	啓発の強化により、目標達成の見込みはある。		
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	交通安全教室や行事などの開催方法を工夫すれば、もっと交通安全に興味を待つ人が増え、成果を向上させることができる。		
有効性評価	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
	市として直接市民に働きかける啓発事業は本事業である。		
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	新入学児童へ配布している交通安全用品については、利用状況等把握を行い、必要な物だけを配布するようにすれば、削減の余地はある。		
効率性評価	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	啓発事業は、粘り強く繰り返し行うことで、効果があると思われるので、削減の余地はない。		
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	交通安全啓発事業は、全ての市民を対象としており、公平である。		
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷
	警察及び交通安全に関係する団体との連携により実施しており、適正である。		

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

年々、交通事故を減少させるため、今後についても本事業の効率化を図りながら啓発を進める。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 行事の開催方法見直しや、経費の節減を図りながら、交通事故の減少につなげる。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上	○																			
	維持																				
	低下																				
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 各交通安全関係団体と細やかな協議を行うことで、啓発行事等のやり方を工夫する。 学校等に依頼し、交通安全啓発用品の利用状況等を把握する。																					